

シラバスの記載内容について

シラバスは以下の項目に沿って記載されている。

- [科 目 名] 授業科目名を記載し、英文名を併記した。
- [ナンバリング] 授業科目の教育課程上の位置づけ(どの分野の授業科目か、といった科目の所在地)や単位の取扱い(必修、選択など)等を把握できるよう、ナンバリングを記載した。
- [年 次] 授業科目の履修年次を記載した。
- [単 位 数] 授業科目の単位数を記載した。
- [期 間] 授業科目の開講期間を、前期・前期(前半)・前期(後半)・後期・後期(前半)・後期(後半)・通年・集中講義のいずれかで記載した。
- [担 当 者] 担当者の氏名をできるだけ記載した。複数担当や非常勤講師などの場合、省略されていることもある。
- [授業のねらい・概要] 授業の目標・目的を十分に理解し、その達成に向けて努力することにより、積極的に授業に取り組むことのできるよう、授業目標・目的を中心に授業の概要、授業形態等を記載した。ここから、学生諸君にとっての学修の意義を発見してほしい。
- [授 業 計 画] 授業開始から終了までの実施スケジュールおよび予習・復習事項の指示を記載した。半期(前期または後期)の場合は14回、通年の場合は28回を目安とした。※知的財産研究科は半期15回、通年30回となる
- [予 習 ・ 復 習] 授業外学修に費やす目安時間を記載した。なお、日々の予習・復習時間全体としては、各授業に応じた時間を取るよう努めること。
- [到 達 目 標] 到達目標および達成度の判定基準を記載した。
- [評 価 方 法] 評価方法、評価材料について、できるだけ具体的に記載した。
- [成 績 評 価 基 準] 到達目標の達成度による成績の評価基準を示した。
学則上の成績評価基準(学部・大学院共通)は次のとおり。

(合 格)A:100～90点、B: 89～80点、C: 79～70点、D: 69～60点、G: 合格 (不合格)F: 59～ 0点、*: 評価不能
--
- [教 科 書] 常時使用する教材(配付プリントを含む)を示した。ノートPC必携科目については、その旨を示した(工学部2018年度以降入学生対象)。
- [参 考 書] 補助教材を示した。
- [受 講 心 得] 授業を受けるにあたっての学生諸君への要望、予習・復習事項の指示、担当者の専門分野の紹介、また、必要な予備知識などを記載した。
- [オフィスアワー] 学生諸君からの質問や相談に応じるために、教員が必ず在室している曜日・時間帯を示した。
- [実 践 的 教 育] 担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目については、その授業概要を記載した。